

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第16報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年7月15日

1. 最も数が多かった種類（優占種） 植物プランクトン第1優占種



Cryptomonas sp.
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、前回よりも細胞数が増加した。今回見られたアファニゾメノンは、群体の両端の細胞が細長く尖った種であった。動物プランクトンは、ハネウデワムシが最も多く、前回優占種であったゾウミジンコは今回観察されなかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	160

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Pompholyx sulcata</i>	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

(2) 植物プランクトン

平成14年7月15日

第16報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanocapsa elachista</i> var. <i>conferta</i> *	10		
(藍) <i>Aphanizomenon</i> sp. *	7		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	5		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	17		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	7		
(珪) <i>Synedra acus</i>	7		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	460		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(み) <i>Trachelomonas hispida</i>	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	60		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	14		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	4		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	5		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	5		
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	17	2.0	4.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	56	6.4	4.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	580	66.6	53.0
(み) みどり虫藻綱	10	1.1	6.5
(緑) 緑藻綱	168	19.3	30.8
(他) その他のプランクトン	40	4.6	0.0
総 細 胞 数	871	総体積	
種 類 数	19	(μm^3)	1.51E+06

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

参考